

法人（事業所）理念		「あなたに寄り添い、一緒に考え続けます」 障害のある方やその家族が楽しく暮らせるように、喜びや葛藤など様々な気持ちに寄り添い、一緒に踏ん張ったり時には休息したり、人生を分かち合えるような存在を目指しています。 また、人と人とが深くつながり、どの人も名前前で呼びあえる、ぬくもりを感じられる地域をつくります。							
支援方針		療育を必要とする児童に対し、日常生活における基本動作等の習得および集団生活への適応に必要な支援を行い、児童とその家族の福祉の増進を図ることを目的とする。 児童の特性を踏まえると共に、児童および保護者の意思を尊重した適切な療育プランを設計し、これに基づく療育活動を通して児童の健全な発達を促し、常に品質の高いサービスの提供を心掛けて活動する。サービスの提供にあたっては、学校、行政、地域と密接な連携を図る。							
営業時間		月～金	14 時	30 分から	17 時	30 分まで	定休日：日・年末年始・お盆	送迎実施の有無	○ なし
		土・祝 長期休暇	10 時	30 分から	16 時	30 分まで			
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や改善にむけて、日々本人の心身の状態をきめ細やかに確認し、必要な対応をしていく。 食を営む力の育成にむけて、咀嚼・嚥下機能や姿勢保持、指先の運動機能の支援を行うと共に、楽しく食事ができるように配慮していく。 排泄や衣服の調整、衛生管理や自身の物の管理などの生活に必要な基本的技能を獲得できるように、環境を工夫しながら、必要な声掛けを行う。 様々な遊びや体験を通した学びが促進されるように、時間や空間を分かりやすく構造化するなどして環境を整える。室温の調整や換気、病気の予防や安全への配慮を行う。 自分にとってより生活しやすい環境を整えていくために、状況に応じて、自己の行動や感情を調整したり、他者へ主体的に働きかけたりする練習を行っていく。 自分で生活を組み立てて過ごせるように、本人の意向を受け止めながら一緒に考え、実際に行動してみて、経験を積み重ねていく。							
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善および習得、筋力の維持・強化を図るため、戸外および室内にて運動プログラムを実施する。 移動能力の向上にむけて、戸外での活動の際、安全に移動する練習を行う。 保有する視覚や聴覚、触覚や嗅覚などの感覚を十分に活用できるように、微細運動や粗大運動を意識しながら、創作活動や運動プログラム、調理活動などを計画して実施する。 周囲の状況を把握しやすくなるように、本人の状態や興味関心にあわせて、保有する感覚を用いて情報を収集する練習を行う。 環境設定時には、感覚の偏りや感覚過敏に対する配慮を行う。							
	認知・行動	自分に入ってくる情報を適切に処理することができるように、一人ひとりの認知特性を理解しながら関わっていく。こだわりや偏食などに対する支援を行う。 認知機能の発達を促すため、視覚や聴覚、触覚などの感覚を十分に活用しながら情報を適切に取得できるように、音楽活動など各種プログラムにて練習を行う。 取得した過去と現在の情報を照合して環境や状況を把握したり、取得した情報の確かな判断や行動へ繋がったりできるように、一緒に考え、行動してみても、経験を積み重ねていく。 認知や行動の手掛かりとして活用できるように、学習支援などを通して、物の機能や属性、形や色や音が変化する様子、大小や数、重さや空間、時間などの概念を形成していく。							
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身につけることができるように、言葉や表情、身振りや筆記など、本人にあった手段を用いて交流していく。 言語を受容し表出する能力の向上にむけて、各種活動内にて話を聞いたり発表したりする時間を設け、相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりする練習を行っていく。 事物や現象、自己の行動などに対応した言語の概念の形成を図り、体系的な言語を身につけることができるように、コミュニケーションを積み重ねていく。 人との関わり方について学んだり、相手との共同注意を獲得したりすることについて、楽しい遊びの場での交流を通して身につけられるように、支援していく。 学習支援などを通して、読み書き能力の向上のための支援を行う。							
	人間関係 社会性	人や環境、自分自身に対する安心感や信頼感を育むため、常に肯定的で受容的な関わり方をしていく。居場所としての役割を果たせるように寄り添っていく。 精神的な変化の幅が小さく安定した情緒のもとで生活ができるように、傾聴や対話の時間を設け、安心感を得られるように支援していく。 相手の気持ちや意図を理解したり、場に応じた適切な行動をしたりすることなど、他者との関わり方について、自由な遊びの中で身につけられるように、練習を行っていく。 社会性の発達や対人関係の構築にむけ、遊びや各種プログラムを通して、人の動きを模倣したり他者と共に遊んだりする機会を提供する。 自己肯定感を高めるために、対話の時間を通して、自分自身の得意なことや苦手なことを理解したり、気持ちを調整したりしていく。 仲間作りにつながるように、相互理解やお互いの存在を認め合えるような集団を作っていく。							
家族支援		登所時の様子を共有したり、気になることがあった際には詳細をやり取りしたりしていくことで、家族と日々連携しながら支援を行っていく。本人や家族の希望を理解し、支援に繋げていく。				移行支援	ライフステージにあわせた心や身体の変化について意識し、見守っていく。移行時ならではの支援内容が見つかった際には、家族や職員と共有しながら取り組んでいく。		
地域支援・地域連携		近所の公園や近隣のお店等での戸外活動を通して、地域の人々との交流を推進していく。				職員の質の向上	東京都や練馬区の研修センターなどを活用した外部研修への派遣、事業所内における計画的な研修の実施を通して、職員の質の向上を図る。		
主な行事等		誕生日会、子どもの日、七夕、ハロウィン、クリスマス会、節分、ひな祭り等							